

令和2年 10月17日(土)「シルバーの日」ボランティア活動

豊見城市シルバー人材センター

沖縄タイムス 社会部 南部報道部 記者 高崎園子

琉球新報 編集局 南部報道部 記者 照屋大哲

沖縄タイムス掲載(R2.10/27)

シルバーの日 清掃活動に汗

豊見城

【豊見城】市シルバー人材センター(宜保剛理事長)は17日、10月第3土曜日の「シルバーの日」にちなみ、ボランティアで清掃活動をした。豊見城総合公園周辺や市役所から県道7号沿いの樹木の剪定、雑草刈り、ごみ拾いを行った。

会員約60人に市老人クラブ連合会のメンバーが加わり、秋空の下、さわやかな汗を流した。新型コロナウイルス感染防止のため人数を絞った。会員になって6年になる外間甫さん(市高安)は週3〜4回、公共施設や個人宅の草刈りなどを行っている。「シルバーの仕事は仲間と和気あいあい、健康づくりや小遣い稼ぎになっていい」と話した。



ボランティアで作業する市シルバー人材センターの会員17日、豊見城総合公園

R2
10/27
タイムス

琉球新報掲載(R2.11/16)

ボランティア清掃で汗

豊見城、「シルバーの日」

【豊見城】豊見城市シルバー人材センターは「シルバーの日」の10月17日、豊見城市立中央公民館周辺で黒木の剪定(せんてい)作業や清掃作業のボランティア活動を実施した。市老人クラブの会員も加わり約70人が汗を流した。写真。市シルバー人材センターの会員は490人。今年は新型コロナウイルス感染防止に配慮し例年に比べ少人数で実施した。

本底広彦事務局長は「清掃できれい



になり、市民に喜んでもらえたらうれしい」と話した。竹ぼうきで葉を集める作業をしていた前仲清孝さん(79)は「シルバーは体力に合わせた作業ができる。家でぼーっとするより外に出てみんなでボランティアをする方が健康にもいい」と汗をぬぐった。